

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和7年12月23日

事業所名 キッズルーム アクア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	0		
	2	職員の配置数は適切である	12	0	利用者2名に対し、職員1名と、基準人数より多く配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	0	1つの部屋(スペース)に排泄、手洗い、事務所がある為、常に誰かしらの職員の目が行き届いている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12	0	毎日清掃、消毒を行っている為、清潔である。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	12	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	0	保護者等の評価を共有し、意向をより良く改善出来るよう努力している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	0	毎年ホームページにて公開を行っている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	12	0	労務士や税理士、姉妹法人の理事長による第三者委員会を毎月行っています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	0	毎月の指導員会議で資質向上の研修を全職員を対象に行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12	0	一人一人に合わせた課題を立てて、保護者と共有しながら作成を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12	0	場面に応じて、ツールを使用しているが、視覚からの情報に頼りすぎないよう工夫をしている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12	0	一人一人に合った支援を行う為に、しっかりと職員間の情報共有を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	0	日々の活動以外にも、プール活動や夏祭り、節分など季節に合った活動も行っています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	12	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	0	毎日行っており、職員間で情報の共有を細かく行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	0	打ち合わせではないが、その日の子供の行動や自分の支援がどうだったか、相談し共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	0	毎日記録をとり、改善したり計画に反映させている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	12	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	8	現在は在籍していないが、以前在籍していた児童に対しては、されいた。 活動する場所のみやすい所に貼つてあるので、いざという時もすぐ見つけられると思う。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	8	現在は在籍していないが、以前在籍していた児童に対しては、されていた。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	0	移行支援として、移行を控えている児童は、関係機関で支援方法や情報共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	0	実際に学校の先生や放デイの方との会議が行われたり、教育委員会の方とやり取りが行われている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	12	0	協議会や子ども部会に参加し、助言や研修を受けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	7	保育園等、併用して利用している児童はあります。 保育園等とのやりとりは積極的に行っていて、体制は整っていますが、児童発達について理解がないと、難しいと思います。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	12	0	協議会は2ヶ月に1回、子ども部会は年に2、3回と参加出来る会議は積極的に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	・送迎時に面談を行っている。 ・来所、降所時に子どもの様子を保護者と共有し、職員にも周知している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	12	0	保護者参観日で子供の関わり方を伝える機会があった。連絡帳のチェック、送迎時の保護者の様子など細やかにチェックし、子どもの対応をアドバイスしている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	0	契約時に全て説明を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	0	送迎時にを行い、必要であれば個別で面談を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	3	定期的に保護者参観日を設けているが、以前保護者間でトラブルがあり、保護者同士の連携を支援していない。また、交流を望まない保護者もいるため。	以前、保護者同士のトラブルがあつた事で、療育が疎かになってしまった事があり、今後も保護者同士の療育時間外での個人の接触はトラブル防止の為、控えさせていただきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	毎朝のミーティングによる情報共有を行い、対応に努めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	アクラ通信は写真も多く、活動の様子が知れ、保護者からも「楽しみにしている」という声をよく聞きます。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12	0	書類関係は、鍵付きの書庫に入れ、勤務時間外はしっかりと施錠している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	家庭環境に合わせて、情報伝達の工夫を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	3	地域住民を招待する行事に当法人も参加しています。また、行事のお知らせは保護者のお迎え時に見やすいよう掲示しています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12	0	年に数回行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	0	定期的に行い、訓練の様子をアクラ通信の載せている。毎回同じ訓練にならないよう、実際の支援をもとに、想定して訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	12	0	利用開始前や、服薬に変更があった際に、必ず確認を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12	0	事前に保護者に確認を行い、医師の指示のもと、対応を行っている。ホワイトボードにメニューを貼り、食事のネームプレートにもアレルギーの情報が書いてある。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	0	職員研修を行って、適切な対応をしっかりと一人一人が学んでいる。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。